

平成 26 年度事業報告

期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

1、平成 26 年度の活動基本方針

NPO アエソンは、障がいがあってもなくても、誰もが、自分らしく、みんなと、地域で普通の生活ができる地域づくりをめざし、1、エンパワーメント2、インクルージョンの理念に基づいて、「その人の持つ力を引き出す支援」「力が発揮できるような社会環境を作る(調整する)支援」を行うことを活動の基本方針にしました。

2004 年 10 月 1 日に法人を設立以来、NPO アエソンは、10 周年、地域活動支援センター+は 5 周年を迎えたことを記念して式典を播磨町健康いきいきセンターで盛大に開催することが出来ました。



2、平成 26 年度の取り組み事業

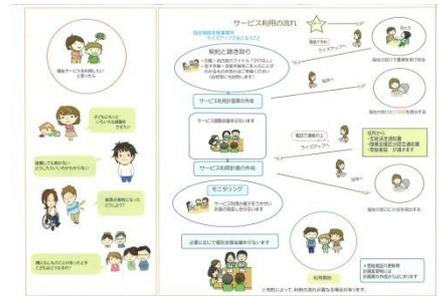
(1) 地域活動支援センター ライズアップ

- ・毎月の行事予定、調理のメニュー等を利用者さんと一緒に考えて、カレンダーづくりを行なっています。
- ・利用者さんの個別支援計画の作成、モニタリングをご本人とご家族と面談の上、丁寧に行っています。
- ・サービスの標準化や記録の効率化、ライズアップ通信の毎月発行、ブログによる公開をしています。
- ・かな美文字教室への参加と美文字展を年 2 回、光のクリスマスにおける合唱、ふれあいフェスタ・健康福祉フェア・大中遺跡まつりにおける模擬店、蓮池小学校区避難訓練、福祉避難所訓練に参加、ユニバーサルスポーツ交流会の参加者記念品制作、ツーデーマーチのボランティア参加、花のプロジェクト協力等に取り組みました。
- ・清水高校のインターンシップ受け入れ（1 人）を行ないました。
- ・利用者さんたちによる活動報告会を 3 月に行ないました。
- ・生活支援員 2 人常勤（男・女）体制をとれるようになりました。

詳細については別紙報告参照

(2) 指定相談支援事業所 ライズアップ

- ・身体・知的・精神・難病の方の成人と子どもを対象とした「特定相談支援」「障害児相談支援」「一般相談支援（地域移行・地域定着）」として、サービス利用計画作成・モニタリングを行なっています。迅速に事務処理が行えるよう、ソフトの導入、効率化を図っています。
- ・事務所に看板を設置し、パンフレットも更新しました。



(3) 播磨町地域自立支援協議会の地域支援ネットワーク構築業務

- ・障がいのある人が地域で安心して生活できる地域福祉をすすめるため、課題解決に向けて、町内外のさまざまな地域資源をつなぐ調整や、作業部会の運営、コーディネート等を行う地域自立支援協議会の地域支援ネットワーク構築業務を誠実に取り組んでいます。
- ・チームビルディング研修で学んだ「自分事にする」参加型の話し合いの場づくり、情報の視覚化、みんなのノート（板書）を実践しています。
- ・播磨町地域自立支援協議会のホームページを開設しています。



(4) 播磨町権利擁護まちづくり委員会

- ・播磨町権利擁護まちづくり委員会の構成メンバーとして、毎月の定例会に出席しています。
- ・啓発講演会「地域で見守る～私にできる見守りって～」神戸学院大学 藤井博志氏（11月22日）、「成年後見制度ができること～財産管理と医療や介護の手続き～」あうる司法書士事務所（2月21日）穴田智久氏、「サービス従業者に求められる通報義務」虐待研修（福島健太弁護士）、「播磨町における高齢者、障害者の虐待対応の仕組みについて」の研修に、地域活動支援センター、相談支援事業所、地域自立支援協議会事務局として参加しています。

(5) ファイザープログラム

・新規事業として、平成 27 年（1 月～12 月）ファイザープログラム＜心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援＞の助成を受け、1 月から 3 月にかけて、支援者向けプログラム、リスクマネジメント・チームマネジメント・ストレスマネジメント研修を計 9 回実施しました。家族支援をテーマに、1 月から、子どもの発達が気になるママのランチ会、リンクサポートとの連携による親子遊び会や相談会を毎月実施し、不安や心配事を気軽に話せる場を設けています。3 月に家族支援講座（三田優子府立大学准教授「ストレスに気づいていますか」）を実施しました。



リスクマネジメント



チームマネジメント



ストレスマネジメント



子どもの発達が気になるママのランチ会



家族支援講座 三田優子講師（3月28日）



(6) 福祉職員人材研修事業

介護職員初任者研修（通学）＜旧ホームヘルパー養成研修＞を県の指定を受けて募集しましたが、参加者が集まらず中止しました。福祉職員の実践研修を行っています。

(7) その他、目的の達成に必要な事業

- ・アエソンのホームページによる情報発信を行なっています。
- ・毎朝の連絡調整会議、毎月 1 回に職員全体会議と、地域活動支援センターの職員会議、相談支援事業所の職員会議を行ない、記録を書面で残し、共通認識のもとに職務を遂行しています。
- ・はりまデザインラボのメンバーとして、法人のそれぞれの事業を通じて、県立東はりま特別支援学校や地域との連携に取り組んでいます。

3、法人全体の運営

◇ 臨時総会

日時：平成 26 年 4 月 11 日 場所：地域連携交流施設

議題：会計期と役員任期をそろえるための理事・監事の辞任と選任、新規事業展開に向けた定款変更、第 5 条⑧障害児通所支援事業⑨居宅介護支援事業⑩居宅サービス事業⑪介護職員初任者研修・ガイドヘルパー・同行援護従業者養成研修等の人材育成事業⑫その他、この法人の目的を達成するため必要な事業を追加、金美子監事の辞任、理事の報酬について

◇ 総会

日時：平成 26 年 5 月 30 日（金） 場所：地域連携交流施設

議題：平成 25 年度活動報告、決算報告、会計監査報告、26 年度事業計画、予算、役員選出と承認

◇ 定款変更の承認 平成 26 年 7 月 18 日 登記申請 7 月 31 日登記完了、8 月 7 日県へ報告

◇ 臨時総会

日時：平成 26 年 9 月 22 日 場所：地域連携交流施設

議題：長倉くぬぎ監事辞任に伴う、藤岡慶子・岡本愛子新監事選任と承認の件

◇ 役員変更届の県への提出 平成 26 年 10 月 8 日

◇ 平成 26 年度 役員

代表理事 政本和子

副代表理事 植田貴代

副代表理事 杉本克弘

理事 寺見和秀

理事 原 敏郎

理事 萬代由希子

理事 石飛 猛

監事 藤岡慶子

監事 岡本愛子